

ベトナム経済の成長と ASEAN 内の位置

2025 年 3 月 12 日 作成

カテゴリ ベトナム経済 経済動向

ベトナム経済の成長と ASEAN 内の位置

ベトナムは ASEAN-6 の中で経済成長を続け、2024 年の GDP は 476.3 億ドルに達し、インドネシア、シンガポール、タイに次ぐ 4 位に位置した。これは前年のフィリピンを抜いた順位向上であり、経済規模の拡大を示している。2024 年の GDP 成長率は 7.09% と ASEAN-6 で最も高く、フィリピン (5.6%)、マレーシア (5.1%)、インドネシア (5.03%)、シンガポール (4%)、タイ (2.5%) を上回った。

一人当たり GDP では、ベトナムは 4,711 ドルで ASEAN-6 の中で 5 位に位置し、フィリピン (4,150 ドル) を上回った。10 年前の 2014 年には 2,570 ドルだったため、大幅な成長を遂げた。一方、シンガポールは 89,372 ドルで依然として ASEAN-6 でトップの座を維持している。

ベトナム政府は、2025 年の GDP 成長率を 8% 以上とし、経済規模を 500 億ドル以上に拡大する目標を掲げている。国際通貨基金 (IMF) は、2025 年のベトナムの GDP を 5060 億ドルと予測し、世界 33 位にランクされると見込んでいる。これは 2023 年の 4330 億ドル (34 位)、2020 年の 3460 億ドル (37 位) からの成長を示している。

イギリスの経済研究機関 CEBR は、2029 年にベトナムの GDP が 6760 億ドルに達し、世界 32 位になると予測している。これはシンガポール (6560 億ドル) を上回る数値である。さらに、2039 年には 1 兆 4100 億ドルに成長し、東南アジアではインドネシア、フィリピンに次ぐ 3 位に浮上すると予測されている。これにより、ベトナムはタイ、マレーシア、シンガポールを上回る経済規模を持つ国へと発展する可能性が高いとされている。

以上